

回	年月日	活動内容	備考
	5月25日	中止	
1	7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・自粛期間中の各機関の困りごとの共有 ・年間計画の確認 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の就労継続支援B型事業所等へ、コロナ禍での利用者支援についての困りごと調査（アンケート等） 	
2	9月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・部会長、副部会長の選出 ・多様な就労のあり方と必要な支援等についての検討 ・情報交換 他 	
3	11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な就労のあり方と必要な支援等についての検討 ・情報交換 他 	
4	2021年 1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の取り組みの検討 	
5	3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・年間のまとめ 	

令和2年7月就労支援部会の報告

○情報交換（出された意見）

- ・コロナの影響大きく、採用されても休みになる人もいた。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で今年はまだ1名しか就労に結びついていない。企業見学から実習、採用まで半年かかってしまった。
- ・B型の売り上げが減ってしまい、工賃の減少など影響は大きい。
- ・感染が心配で自主的に通所自粛される方もいた。
- ・職員側でもコロナ鬱的に不安定になる人もいる。
- ・自粛になることで生活リズムが崩れ、昼夜逆転など生活支援の重要性が高まってくる。
- ・就労移行から一般就労した人でも、給与支払い無しの方、雇い止めになる方もいた。
- ・マスクを着用できない利用者もあり、周囲の人からは冷たい目で見られてしまう。
- ・例年2年生から実習に行くが、今年は実習は難しい。
- ・企業就労希望だったが感染リスクを心配し、通勤のないテレワーク希望に変更した人もいた。
- ・職員に新型コロナウイルスの感染者が出てしまい、守秘義務と正確な情報公開との兼ね合いが難しかった。
- ・感染者が出ていないにも関わらず、「感染者が出た」という噂が広まり事業所に問い合わせが数件あった。障害特性上、その噂によって不安が高まり退所した方もいた。

○就労支援部会年間スケジュールと取組内容について（出された意見）

- ・在宅就労の導入に向けて研修を実施した。
- ・在宅就労については、身体障害に限らず精神障害の方も対象として考えている。
- ・リモートでの支援が難しい。
- ・市内のB型等の施設では利用者支援において実際にどんなことに困っていたのか聞いてみたい。
- ・GHの日中活動支援としてどのようなことをしていたのか知りたい。
- ・テレワークの情報は、テレワークを導入している企業が詳しい。どこの会社がやっているか、など周囲の情報を持っている。
- ・週2日B型の在宅就労でパソコン作業を行い、週3日は生活介護でリラックスして過ごしている人もいる。
- ・在宅支援というと不登校の支援のイメージだったが、これを機にリモートワークでの社会参加につながっていけると良い。
- ・最近では在宅就労につなぐコンサルタントも出てきている。企業側にノウハウを伝え、在宅就労の環境を整えてくれる。